

つてゐるが。然しそれは科學的論理的媒介性を通して始めて學問的反省の内容になるのである。辨證法もこの意味で單に行爲的直觀的でなく論理的科學的媒介性をもちべきものではなからうか。だから私は柳田氏の宗教論をどこまでも氏の信仰として尊敬したいと思つてゐる。

以上の私の二三の疑問は然しこの書の價値の大ききもの前に立てば寧ろ私の考へ方の淺薄さを證明してゐる位にさゝやかなものである。倫理學的反省方法に至る公道はこれによつて開かれたと云ふべきだらう。公道の開拓はちみであるが然しそれが益するところは根柢的である。私は氏の堅實な歩みぶりに尊敬の情を抱きつゝ、この蕪雜な讀後感を終へたいと思ふ。

新刊書目

- Aristoteles: *Organon*. Neue, trakt. et notes par J. Tricot. V. Les *Traiqués*, 2 vols. N. 166 et 210 pp. Fr. 60.00. VI. Les *Rehtitions sophistiques*. N. 155 pp. Fr. 30.00. Paris: Vrin, 1939.
- Clisson, E.: *Réalisme et critique de la connaissance*. Paris: Vrin, 1939. 255 pp. Fr. 30.00.
- : *The unity of philosophical experience*. London: Sheed & Ward, 1938. XII, 319 pp. 10s. 6d.
- Hirsch, E.: *Das Wesen des Christentums*. Weimar: Vlg. Dr. Christen, 1939. VI, 165 pp. M. 3.50.
- (Lessing) Robertson, J. G.: *Lessing's dramatic theory*. Being an introd. to and commentary on his "Hamburgische Dramaturgie." *Cambr. U. P.*, 1939. xiv, 544 pp. 30 s.

寄贈雜誌

- 四月號 心理學研究、史料
五月號 哲學雜誌、思想、理想、文化、丁酉倫理講演集、經濟論叢、法學、一橋論叢、學校教育、信濃教育、社會學徒、哲學改造、湖畔の聲、國民醫學、願慧、學藝展望